

LNG 売買契約の締結について

東京ガス株式会社
静岡ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）と静岡ガス株式会社（社長：松本 尚武、以下「静岡ガス」）は、このたび、液化天然ガス（以下「LNG」）の売買契約（以下「本契約」）を締結しました。本契約により、東京ガスは静岡ガスに対し、2027年から年間5カーゴのLNGを外航船で引き渡す予定です。



（左から 東京ガス 取締役 代表執行役社長 CEO：笹山 晋一、静岡ガス 代表取締役 社長執行役員：松本 尚武）

東京ガスと静岡ガスが中長期 LNG 売買契約を締結するのは今回が初めてです。また、本契約により、東京ガスは静岡ガスのメインサプライヤーの1社となります。

近年の地政学リスクの高まりを背景に、エネルギー市場における価格変動が激しさを増しており、LNG 調達の商流多様化の重要性が高まっています。本契約は、国内における LNG 取引の拡大を通じて、LNG 調達の商流多様化に寄与し、日本国内のエネルギーセキュリティ向上に資するものです。

【本契約の概要】

売主	東京ガス
買主	静岡ガス
締結日	2026年5月7日
契約開始	2027年（中長期契約）
契約数量	年間5カーゴ*1
引渡条件	DES（仕向地到着渡し）*2
供給源	東京ガスが契約する LNG プロジェクトから供給

東京ガスは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「LNG バリューチェーンの変革」を掲げています。今後も、LNG の調達・販売取引の拡大と商流多様化を通じて、LNG 調達の柔軟性を高め、日本国内のエネルギー安定供給に貢献します。

静岡ガスは、2021年8月に公表した「静岡ガスグループ 2050年カーボンニュートラルビジョン」において、カーボンニュートラルの実現に向けたロードマップを公表しています。今後も、LNG の安定調達を通じて低炭素化の加速に貢献し、お客さまとともにカーボンニュートラル実現に取り組んでまいります。

*1：LNG 取引における船舶1隻の積卸し単位。1カーゴあたり6-7万トン相当。

*2：売主が輸送船を手配し、揚地まで輸送すること。

以上